

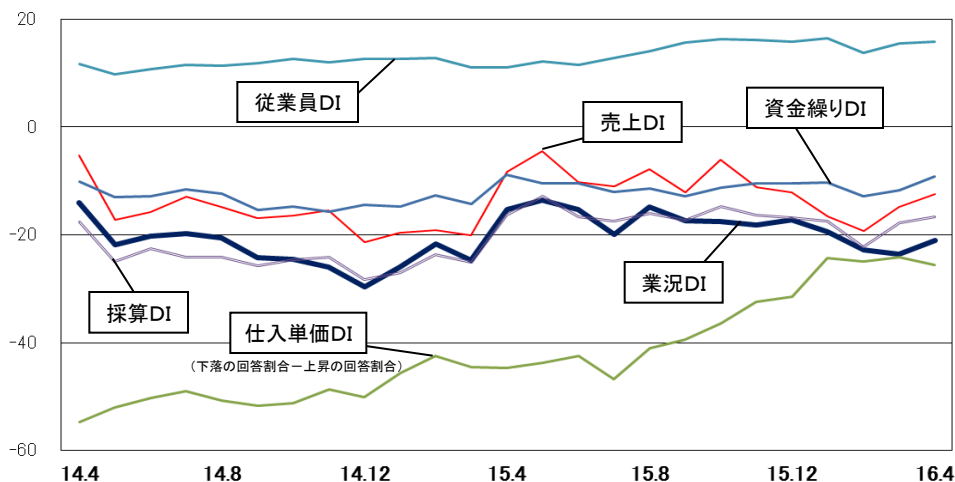


業況DIは、引き続き一進一退。先行きも不透明感強く、慎重な見方崩れず

ポイント

- ▶ 4月の全産業合計の業況DIは、▲21.0と、前月から+2.6ポイントの改善。ただし、今回の調査開始時点は熊本地震の発生前であることに留意が必要。業況DIは、堅調な観光需要や原材料・燃料価格の下落の恩恵、設備投資の持ち直しの動きに加え、「悪化」から「不変」への変化も押し上げ要因となった。金融市場の不安定な動きに対する懸念は和らぎつつあるものの、人件費上昇や受注機会の損失など人手不足の影響拡大、消費低迷の長期化、新興国経済の減速などから、中小企業の業況感は依然として鈍く、一進一退の状況が続いており、来月以降、熊本地震の影響を注視していく必要がある。
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲23.1(今月比▲2.1ポイント)と、悪化を見込む。ゴールデンウィークに向けた観光需要拡大や設備投資の持ち直し、補正予算・今年度予算の早期執行などへの期待感が伺える一方で、熊本地震の影響の大きさや、円高によるインバウンド需要の鈍化など消費の一段の悪化、新興国経済の減速の長期化を懸念する声が出ている。人手不足や価格転嫁の遅れなどの課題を抱える中、中小企業においては、先行きへの不透明感から慎重な見方が続いている。

LOBO全産業合計の各DIの推移(2014年4月以降)

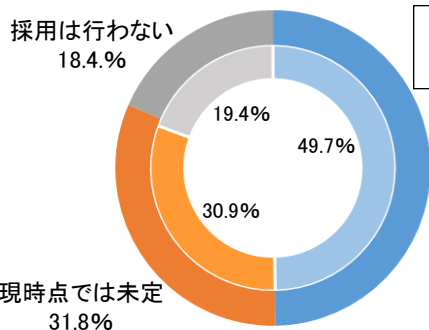


2016年度の採用動向

- ▶ 2016年度に採用を行う企業(全産業)は49.8%と、前年同月と比べ、ほぼ同水準。また「現時点では未定」とする企業は31.8%、「採用は行わない」企業は、18.4%
- ▶ 採用を行う企業のうち、「正社員を採用」する企業は85.9%。「非正規社員を採用」する企業は、36.0%
- ▶ 採用する人数は前年と比較して正社員、非正規社員とも、「増やす」企業が増加し、過半数に達した

◆2016年度の採用について

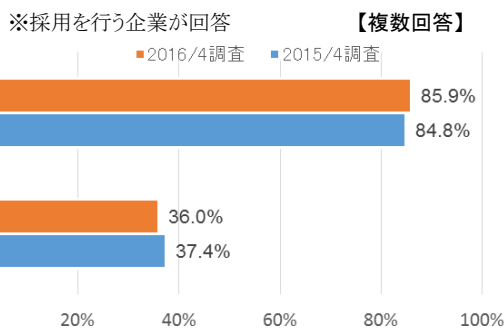
※円グラフの外側が今回調査、内側が前年同月調査



採用を行う 49.8%

【参考】  
2015年度の採用実績  
・採用した ……61.6%  
・採用しなかった ……38.4%

<採用の内訳>



[中小企業の声]

- ▶ 2017年4月入社に向けた採用活動を始めているが、全国展開の大手企業を志望する学生が多く、例年より応募者を集めるのに苦労している (札幌 電気工事業)
- ▶ 2015年度は予定通り採用できた。今期も積極的に採用活動を展開するが、合わせて定年延長などの就業環境の整備も行い従業員の定着を図る (富山 農畜産物卸売)
- ▶ 人手不足だが、無理して採用する考えはない。労働生産性向上のための設備投資を積極的に実行していく (本庄 自動車部品製造業)
- ▶ とにかく人手が足りない。正社員はもとより、パート、アルバイトも給与を上げて募集しているが、応募者が全くない (鹿屋 飲食店)

<採用する人数>

